

PKU親の会・関東の皆様が 小児スクリーニング科

を

2月1日、「PKU親の会・関東」の皆様をお招きして、本会検査室の見学会を開催しました。見学会には17人（大人10人、子ども7人）が参加され、小児スクリーニング科のスタッフが検査の方法など新生児マススクリーニングの現場をご案内しました。見学会終了後は、本会の検査を指導してくださっている日本大学医学部小児科学系准教授の石毛美夏医師を交えた懇談会も行われました。

検査室の見学



本会に届いた検体（ろ紙）をどのように受付して、検査を進めるかを紹介し、ろ紙を切り出す「オートパンチャー」の操作を体験していただきました。



新生児マススクリーニング検査の流れや採血方法などについて、動画を交えて説明しました。



検査測定を行うタンデムマスについての説明にも、熱心に耳を傾けてくださいました。

ようこそ！
東京都予防医学協会検査室へ

見学されました

日 本で生まれた赤ちゃん全員が受けている新生児マススクリーニング（先天性代謝異常症等検査）。本会は東京都の委託を受けて都内で生まれた赤ちゃんの検査を行っています。

検査の対象となっている疾患は、フェニルケトン尿症（PKU）をはじめとするアミノ酸代謝異常症と糖代謝異常症であるガラクトース血症、有機酸代謝異常症、脂肪酸代謝異常症および内分泌疾患の合わせて20疾患です。

懇談会



検査室での見学会の後は、低たんぱくのお菓子を食べながら懇談会が行われました。参加された方々からの質問に、石毛美夏医師や本会のスタッフが答えました。

PKU親の会・関東 会長 藤原泉様からのメッセージ

見学会では大変お世話になりました。素敵な歓迎に大変うれしく、ありがたく思っております。とても有意義な会で、勉強になりましたし、検査の先生方のご苦勞も知ることができ、改めて検査のありがたみを感じました。娘がこうやって普通に生活できるのも、検査体制とそれを支える先生方のおかげです。感謝申し上げます。他の参加者からも検査の進化に感心したという声があがっていました。先生方、スタッフの皆様が温かく迎えてくださり、参加者一同感謝しております。



「PKU親の会」は、1972年に設立したフェニルケトン尿症（PKU）の子どもを持つ家族らによる組織。お互いに励まし合い、助け合うことを目的に、さまざまな活動を展開しています。現在は東北、関東、東海、関西、九州の5つの地域の会があります。



ご参加くださった皆様、お忙しい中お越しくださり、ありがとうございました。患者様やご家族の方々のお話をうかがう貴重な機会となりました。より一層精度の高い検査を実施してまいります。引き続きよろしく願いいたします。